

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 1 週 ( 2025/12/29~2026/1/4 ) 感染症発生動向調査速報値 ( 2026/1/8 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **259** 人、定点医療機関当たり **6.64** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科24定点、内科15定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

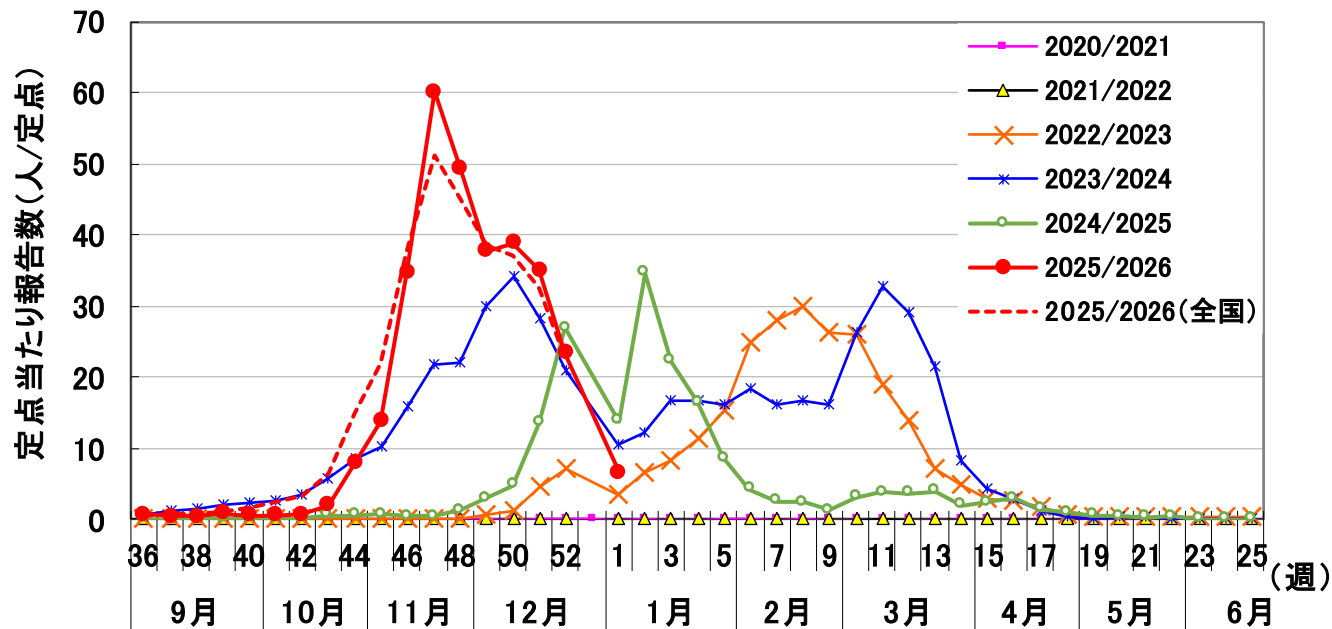
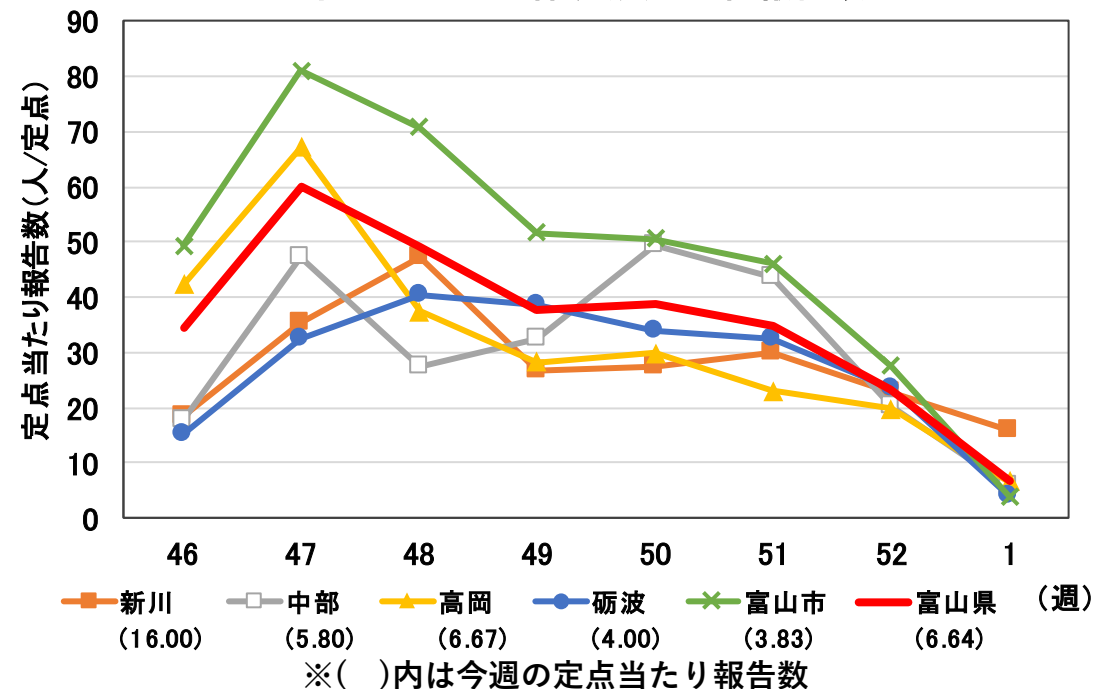
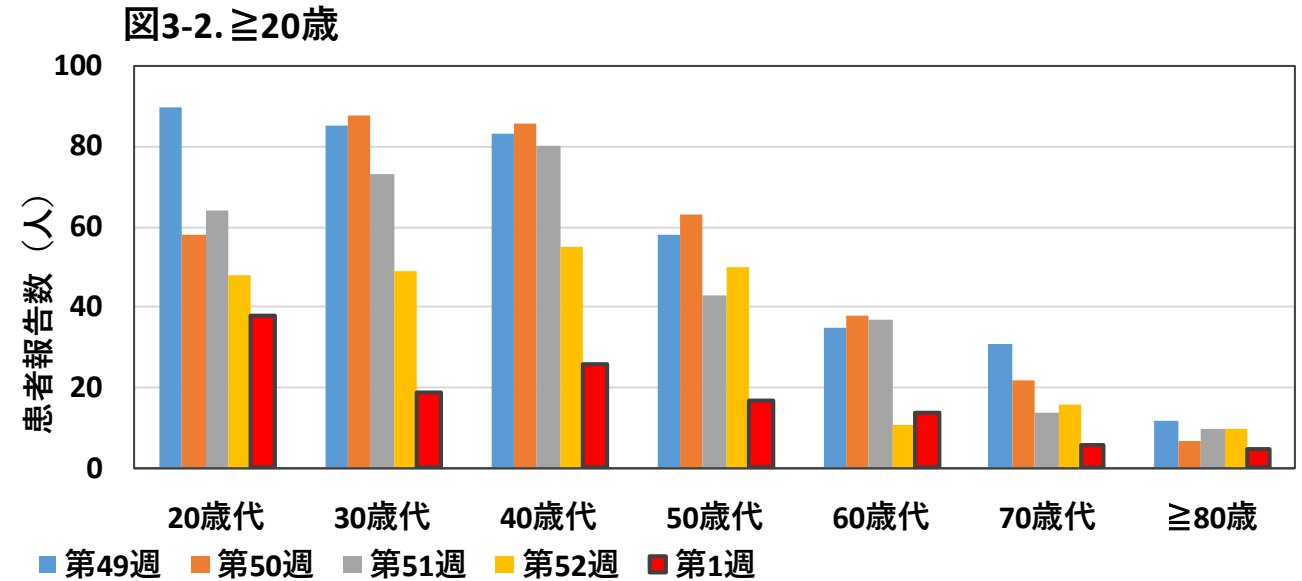
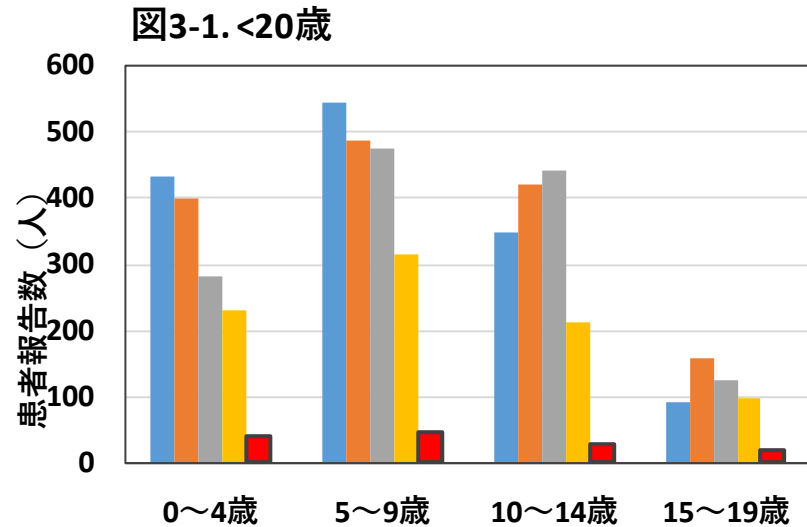


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週6.64人/定点となり、先週 (23.32人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、すべての管内で先週から減少した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：24定点、内科：15定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 60歳代で先週から増加した一方、その他の全ての年代で先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第52週)

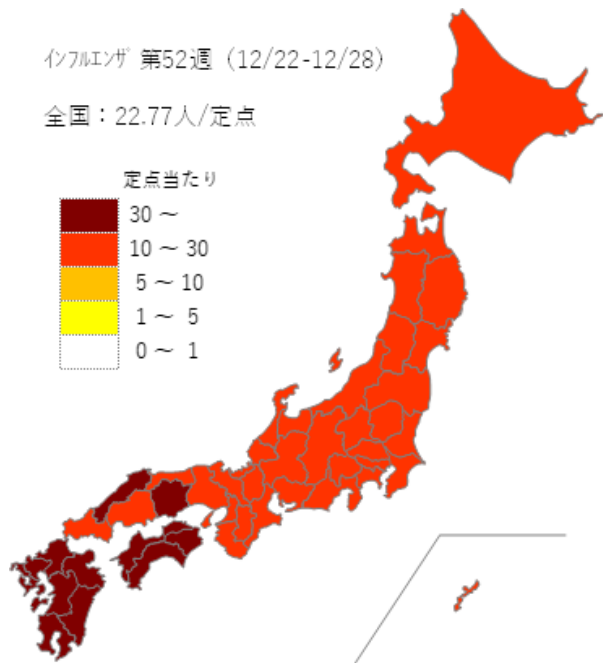


図5. インフルエンザ入院サーベイランス患者報告数の推移(富山県)

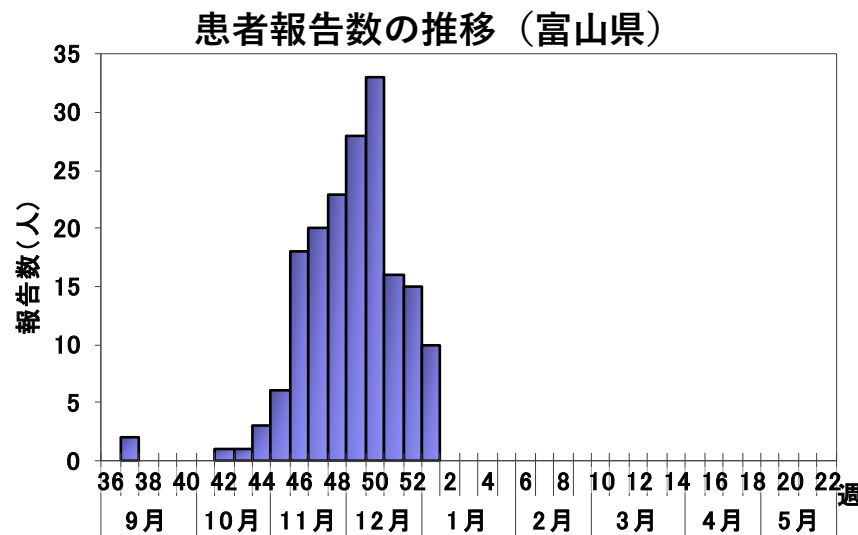
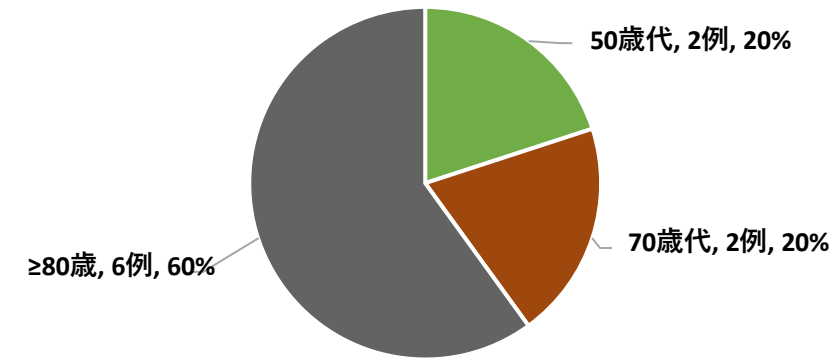


図6. インフルエンザ入院サーベイランス年代分布(第1週、10例)



- 全国では第52週に22.77人/定点となり、第51週(32.71)から減少した。都道府県別では、13県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている(図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週10例の報告があり、先週(15例)から減少した(図5)。
- 入院患者の年代は、50歳代、70歳代が各2例、80歳以上が6例で、70歳以上が80%を占めた(図6)。
- 第1週は冬休み期間のため、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告がなかった。
- 県内の患者報告数は先週から減少したものの、年末年始の定点医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性がある。インフルエンザの流行は継続しており、引き続き発生動向を注視する必要がある。